いつもお世話になります。大鋸通信VOL166を送らせていただきます。

今年は歴史に残るほど早い梅雨入りでしたね。

　さて、皆様もご承知の通りですので書かせて頂きますが、5月には色々な方から「大鋸大丈夫か！」などのお声を掛けて頂きました。正直今までの一年間でもかなりの吐出しをしてきましたが、弊社は売上ベースで言いますと飲食店様が全体の8割以上を占めております。勿論店頭や、一般家庭の配達でも皆様に大変お世話になっております。しかし時短営業であった頃は、少なくとも少しはお酒の販売もありましたが、「終日お酒の提供が出来ない」これはまさしく「禁酒令」と言えるでしょう。しかも店がやってない事で路上で酒を飲みかわす事が悪いとテレビなどで報道されたらしく、今やお酒は悪者というイメージを多くの国民に映った事と思います。そうではない方も見えると思いますが、全国のお酒の需要はかなりダウンしお酒がたくさん余ってしまった酒蔵も多く聞きます。

全国各地の蔵元やお客様にも行かせて頂いていた事が今では全くなされないまま続いています。ただ何よりも「お酒が悪者」かのように終日提供の禁止は残念でなりませんでした。もうこれ以上この状況が続くと大変な状況に陥る酒業界（酒業界だけではありませんが）の関係者も多いようです。

　弊社スタッフは定年退職者が3月に一人いましたが、みんな元気です。順番に休ませてはいましたが「今できる事！」そして「新たな変革を迎える時代に対してどう立ち向かうか」などを考え乗り越えようとしております。

私はにっくきコロナとは思っていません。ただ小さな頃から「日本人は素晴らしい」「先進国」と育てられましたが、今更ながらですが政府の隠ぺいから始まり、強者は許され、弱者は徹底的にやられる。戦時中はこれからを担う若者に〇〇を命じる国。

「情けない国に住んでいるなぁ」と思う今日この頃です。

いつも書いておりますが、宇宙自然の法則ですから、コロナが終息してもまたいつか他のウイルスなども生まれてくるでしょう。ウイルス然り、様々な天変地異然り、今回はそれがコロナだっただけの事。

だからこそ、よく朝礼では「コロナのおかげで…」と言っています。

コロナが無ければ知らされる事もなく、原点に返り中山道大鋸の本来のあるべき姿、「お客様に喜び感動を与え続けるために何が一体出来るか」など、改めて話し合う時間がありました。今慌てふためいて他の事業をとも思いません。酒が悪扱いされたとしても我々はお酒を売り続けます！お酒のプロとして長年にわたり努めてきた年輪があります。それを更に太い年輪にして「お酒のプロ」であり続けます。簡単に飲める簡単に酔えるお酒が出ていますが、そうしたアルコール飲料が何故あまりよろしくないか？知らない方も多いと思います。お酒は酔うためでもあるかと思いますが、今晩のお料理を更に美味しくしてくれるのがお酒の本来一番いいところです！そして食後には優雅にウイスキーをロックで嗜む。そんな提供を自信を持って伝えて行き続けます。私も店内にいることが少ない事もありますが、出来るだけ皆様にお伝えできるようスタッフ一丸で努めて参ります。

今はひたすら体力作り。元に戻ったらその体力を活かします。　　　　　　　　　　　　　　大鋸 伸行